

平成 2 9 年 8 月 2 9 日

広 報 広 聴 委 員 会

阿久根市議会

1 会 議 名 広報広聴委員会

2 日 時 平成29年8月29日（火） 10時06分開会
10時34分散会

3 場 所 第2委員会室

4 出席委員 白石純一委員長、渡辺久治副委員長、西田数市委員、
竹原信一委員、仮屋園一徳委員（遅参）、濱崎國治委員

5 事務局職員 議事係 大漣 昭裕

6 会議に付した事件
・議員と語る会について

7 議事の経過概要 別紙のとおり

審査の経過概要

白石純一委員長

ただいまから、広報広聴委員会を開会いたします。

本日の委員会は、お手元に配布しましたレジュメに沿って進めたいと思います。

1 番ですが、議員と語る会について、前回までの決定事項は別紙のとおりです。

意見交換のテーマについてですが、市民から意見が出やすいようにサブテーマを決めたほうがいいんじゃないかというふうに前回も意見が出ました。委員の皆様からの意見をお伺いします。

今のテーマは、「阿久根市民が将来にわたり幸せを実感できるために今すべきこと」という大きなテーマになってますので。

竹原信一委員

これは委員長の提案ですか。

白石純一委員長

そうですね。

やっぱり意見が出やすいようにサブテーマを何かあったほうがいいのかなど。

例えば人口減少とか子育てしやすい町にするためとか。

竹原信一委員

今ぐらいの感じでいいんじゃないかな。あんまり細かく言うと、人口対策どうしますかっていきなり言われても市民も困るわけですから、それぞれお考えの気持ちのところから入っていったほうが実際のほうに広がるというかな、ああ話し合いをしたなという感じが持ちやすいと思うんですよね。最初から細かくテーマを区切っちゃったら、じゃあ俺たちはどうなるかという話になるので、このぐらいでいいかと思います。

白石純一委員長

ほかに意見はありませんか。

渡辺久治委員

私もこの意見テーマでいいと思います。細かく絞るよりもいろんな意見が出て、またこの辺は今すごくタイムリーじゃないかなと思います。以上です。

西田数市委員

竹原委員、渡辺委員と同じく、このくらいのテーマでいいと思います。

白石純一委員長

ほかに意見はありませんか。

なければこのテーマ、「阿久根市民が将来にわたり幸せを実感できるために今すべきこと」というテーマで意見交換をしたいと思います。

これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認め、そのように決しました。

次に(2)アンケートについてですけれども、①区長への事前アンケート内容については、前回実施したものを配付しております。委員の皆様からの意見をお伺いします。

このアンケートですね。各区長に聞くものです。

竹原信一委員

この紙について、4 番のところはあまり長く書かないほうがいいのかなどという感じがします。「その他」という言葉で、一つのほうで区切ったほうがいいのかもしいかなという感じがしますね。「お気づきの点があれば」といえば、意識がね、小さくなっていく

気がしません。その他何でもどうぞみたいな状況のほうが書きやすい気がします。

白石純一委員長

ほかにどうでしょうか。今の竹原委員の考えについて。竹原委員の考えは、4番、「その他」でもう、

（発言する者あり）

それでは4番についてはこのままでよろしいでしょうか。

ほかにこのアンケートに関しての御意見はありませんでしょうか。

〔「いいと思います」と呼ぶ者あり〕

それでは、アンケート内容についてはこの案でということで御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認め、そのように決しました。

次にアンケートの活用方法についてですけれども、委員の皆様から御意見をお伺いします。具体的に、例えばこれを全てその日にこういう意見があったけれども、区長からの意見が出てるけれども、こういうふうに議員としては、議会としては対応します。あるいは市が現在このように対応していますという、その日にお答えするのか。あるいは事前に区長にお答えするのかなというようなタイミングの問題もあるかと思います。

濱崎國治委員

前もって区長に回答してもどうかと思うんですよ。区長だけになって、その出席している区民の人も知ってもらうためにはやっぱりその会場でのこういうことでありましたがこれについてはということで意見交換したほうがいいんじゃないですか。

竹原信一委員

例えばこれをやったことによって、これをきっかけにこういう要望あったねと出されてきます。すぐ対応すべきことはしていいんじゃないかなと思うんですよ。この語る会まで待つ必要がない、むしろ早くすべきことは早くしておく。そしてやっていいんじゃないかな。（聴取不能）的に決めなくていいんじゃないかと思いますけど。

白石純一委員長

その内容にもよると思うんですけど。

濱崎國治委員

これについては、あくまでも議員と語る会のテーマとして打診するわけでしょう。そしてやっぱり議員と語る会のテーマとしてその会場のほうでしたほうがいいんじゃないですか。というのは、何でこれをするのかっていったら、あらかじめ回答しやすくするようにというのが一番のあれでしょう。意見があった分についてはできるだけ回答、その場でできる体制というのがこの一つの記入を、アンケートをする一つの方法でもありますので、その時にこうこうしてというのがいいんじゃないですかね。

竹原信一委員

この語る会の本来の目的というのは、語ることが目的ではなくて、市民の状況を改善することなんですよね。その道具として語る会があると。順番からいうと、この語る会を始めたことによってそのテーマが浮き上がって、できることをやっぱりやるっていうのが本来のあり方ですよ。私たちが語る会をスムーズに持っていくことを目的にするっちゃうのは本末転倒だと思いますよ。

濱崎國治委員

このテーマをすることによって、そこで具体的にこうこう議員は思ってますということを具体的に発言できる機会ですので、私は意見交換の、議員と語る会のほうでちゃんとお答えしたほうがいいと思います。

渡辺久治委員

このアンケートを渡すのは9月ですよ。回収するのはいつになりますか。

白石純一委員長

前回のアンケートでは、「9月の広報配布時に職員にお預けいただくか、FAXでお送りください」となっています。

渡辺久治議員

議員と語る会までにそれを整理してしないといけないから、それほど時間というのはないから、まずはそれを整理していただいて、その時にどんなふうにして議員と語る会で資料として出すかというのをちょっと要約して出さないかんとか、その辺もあるから、それでいいと思います。竹原議員が言われるように、即急いであるようなことがあれば全協なりでもめばいいと思うから、というふうにいかがですか。

竹原信一委員

地区から出てくるのは議会で議論してくださいという話じゃなくてですね、実際にはすぐしてやってほしいみたいなのが出る可能性があるから今その話をしてるわけですよ。ですから、それに対してはちゃんと対応した上で、それで議員と語る会のときはこんなふうに処置しましたと御説明すれば余計いいんじゃないですかね。これ、待ちましたっていうのは言いわけしにくいですよ。

西田数市委員

私も竹原委員と一緒に、そのほうがいいと思いますね。以上。

白石純一委員長

意見が大体出たと思いますけれども、緊急性を要するものについてはもちろん早めに対応するということは必要だけれども、全体としては意見交換、議員と語る会の中でこういう要望についてはこういう対応をしていきますという形で皆さんの前で回答するという二段構えで、その出てきた内容によって判断していくということによろしいでしょうか。

竹原信一委員

そのですよ、とっとくんじゃなくて、どんな対応ができるかなというのはやっぱり執行部と議論はした上でしないと、薄っぺらな話になるんで、動きはやっぱり、内部的にはしとくべきですね。

白石純一委員長

もちろん執行部との検討は必要になると思います。

続きまして、②当日の参加者へのアンケート内容について、昨年のを配付しております。箇条書き、マークをするやつですね。この内容について、委員の皆様からの意見をお伺いします。

渡辺久治委員

当日ですから、これほとんど帰る前で書かないかんから、時間ないんですよ。だからこの内容で私はいいと思います。下のほうにいろいろ書く欄がありますけれども、ほとんど各時間とか、みんなもうさっさ帰るもんだからな。だから大体のニュアンスがわかる6番までですか、これがあるから、このほかに何かあればですけども、これで私はいいと思います。

竹原信一委員

高齢者が多いので、字の大きさはどうでしょう。字の大きさを大きくするには、なるべく言葉を短くしたほうがいいだろうという気はする。

白石純一委員長

活字は大きくしたいと思います。

それでは、アンケート内容については去年までのものを踏襲し、読みやすく字を大きく、あるいは簡潔にするということで御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

では、そのように決しました。

続きまして、このアンケートの活用法についてですが、委員の皆様から意見をお伺い

します。

ちょっと休憩に入ります。

(休憩 10:17～10:25)

白石純一委員長

休憩前に戻ります。

それでは、この議員と語る会、当日アンケートの活用については場所の把握をしっかりと集計をして来年度に活用するということで御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認め、そのように決しました。

次に、(3)団体との語る会の募集方法について、委員の皆さんから御意見をお伺いします。

竹原信一委員

前はどうかやっただけでした。

(発言する者あり)

白石純一委員長

ちょっと休憩に入ります。

(休憩 10:25～10:31)

白石純一委員長

休憩前に戻ります。

それでは、団体の募集については市の広報誌で10月、そしてホームページで募集をします。ただし高校等の団体に打診をしてみるということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、そのように決しました。

次に、2、その他ですが、次回の広報広聴委員会は配布資料案の確認等を行うため、9月14日の、ちょっと休憩に入ります。

(休憩 10:32～10:34)

白石純一委員長

休憩前に戻ります。

次回は、9月14日の13時から第2委員会室で開催したいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認め、そのように決しました。

このほかに委員から何かありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

なければ以上で広報広聴委員会を散会いたします。

(散 会 10時34分)

広報広聴委員会委員長 白石 純 一